**◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する４つの視点**

**➡　【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】**

**１　現状及び課題等**

**(1) 学習改善の視点（児童の学び方）　　　　　　　　(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）**

**①児童の理解度を常に意識し、学習内容を確実に理**

**解させていく指導が十分ではない。**

**②内容が確実に定着するよう繰り返し問題に取り組**

**ませる時間の確保や、粘り強く取り組ませるため**

**の指導が十分ではない。**

**③児童が、自分が理解したことや考えを自信をもっ**

**て発信できる環境づくりや機会が十分ではない。**

**①間違えた問題や理解できていない内容に対して、**

**未理解のままにしてしまう児童が少なくない。**

**②確実に理解できるようになるまで繰り返し練習す**

**るなど、粘り強く課題に取り組むことが苦手。**

**③自分が理解したことや考えたことなどを、他者に**

**伝えることに消極的である。**

**２　学校全体で目指す授業像**

**(1) 目指す児童の学びの姿 　　　 (2) 目指す授業像**

**①②児童の理解度が、児童も教師も把握できる振り**

**返りの工夫や、理解度に合わせて取り組むことができる教材の工夫がある授業。【発見・決定】**

**②学習内容の定着を図るための時間を計画的に取り入れた授業。**

**③ペア、グループでの話し合い活動を計画的に取り入れた授業。【対話・表現】**

**①②自分の課題を把握し、目標をもって、理解するまで粘り強く取り組もうとする子。**

**【発見・決定】**

**③自分が理解したことや考えたことなどを、積極的**

**に他者に伝えようとする子。【対話・表現】**

**３　学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組**

**(1)　各教科における授業改善のポイント【全学年共通】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **国語** | 学習用語を意識させ、正しく理解させるとともに、児童が読み取った行動や心情、キーワード等を叙述を基にして説明できるように指導する。自分の考えを伝える場面を取り入れた言語活動を充実させる。  【対話・表現】 | **音楽** | 楽譜に込められている作者の思いを、強弱記号・歌詞・音符などから読み取り、どのように表現するかを考えたり、演奏の仕方を工夫したりする指導の充実を図る。  【発見・表現・対話】  様々な楽器に触れ、その音色や響きを楽しみながら、楽器の特色や奏法を知る学習の場面を設定する。  【発見・対話】 |
| **算数** | データの特徴をとらえ、必要な数値を読み取り、考察したことを式や言葉で表す指導の充実を図る。  【発見・表現】  伴って変わる二つの数量について単位量あたりの考え方を基に条件に合わせて数値を求めたり、変化の仕方を言葉で説明したりする指導の充実を図る。  【発見・表現】 | **図画**  **工作** | 児童が自ら目標をもち、計画をたてる場面、材料や用具を試行する場面を設定する。  【発見・決定】  目標を達成するために技能や知識を活用したり、課題解決のために話し合ったりする場面を設定する。  【表現・対話】 |
| **社会** | 図や写真、グラフなどの資料から分かることを児童同士交流させたり、ICT機器等を活用したりして、課題に対して、資料から適切に情報を読み取れるようにする。また、自分の考えの根拠として適切な資料を見付ける指導の充実を図る。　【決定・表現】 | **家庭** | 基本的な知識や技能の定着を図るため、スモールステップの授業を基本とする。【発見・決定】  主体性をもって活動ができるよう、活動の内容や手順を明確にする。【対話・表現】 |
| **理科** | 観察・実験の質や量を充実させるとともに、繰り返し操作をさせる指導の充実を図る。【発見・対話】  主体的な問題解決の活動を充実させ、観察・実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察させる指導の充実を図る。【決定・表現】 | **体育** | 段階的に技能を習得できる場を設定し、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。【決定】  ICT機器を有効に活用し、体の動かし方のイメージをつかみやすくする。【発見・表現】 |
| **生活** | 体験を重視し、実際に観察したり、見学やインタビューをしたりする活動を多く取り入れていく。【発見】  また、体験から多くの気付きが得られるよう、町の人や友達と交流する時間を多く設定する。【対話】 | **外国語** | 発話量を増やすために、繰り返しの練習が必要であるため、デジタル教材用いて、繰り返し練習できるような教材を準備する。【発見・表現】  授業の初めを復習時間にあて、既習事項と本単元に関係する英語表現を確認する。【対話・表現】 |

**（2） 児童用タブレット端末の活用【市共通】**

・スライド、フィグジャム、スプレッドシート等を活用して、自分の考えを表現し、気付いたことを伝え合う活動を取り入れることで、児童の学び合いを促進できるようにする。【対話・表現】

・eライブラリアドバンスを活用し、自らの学習の理解度を把握させる。【発見】